

令和元年11月15日
相模原市発表資料

国指定史跡川尻石器時代遺跡の追加指定に係る答申について

国の文化審議会（会長：佐藤^{さとう} 信^{まこと}）は、11月15日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、本市に所在する国指定史跡「川尻石器時代遺跡」について指定地の範囲を追加するよう文部科学大臣に対して答申しました。

川尻石器時代遺跡(かわしりせっきじだいいせき)

- 所在地 相模原市緑区谷ヶ原二丁目 788 番 2 ほか 61 筆（既指定地）
相模原市緑区谷ヶ原二丁目 743 番 1 ほか 1 筆（追加指定地）
- 指 定 昭和 6 年 7 月 31 日
- 追加指定 平成 13 年 1 月 29 日、平成 16 年 9 月 30 日、平成 18 年 7 月 28 日
- 指定面積 24,237.61 m²（うち今回追加分 870.00 m²）
- 概 要 縄文時代中期から晩期にかけて谷津川右岸に長期間継続した大規模拠点集落。豊富な遺物とともに、敷石建物(しきいしたてもの)や配石墓(はいせきぼ)など礫石を多用した遺構が検出されている。中期から晩期に至るまでの集落構造の変遷が把握できる重要な遺跡。今回、条件の整った部分を追加指定する。

問い合わせ先
文化財保護課 担当：河本
042 - 769 - 8371

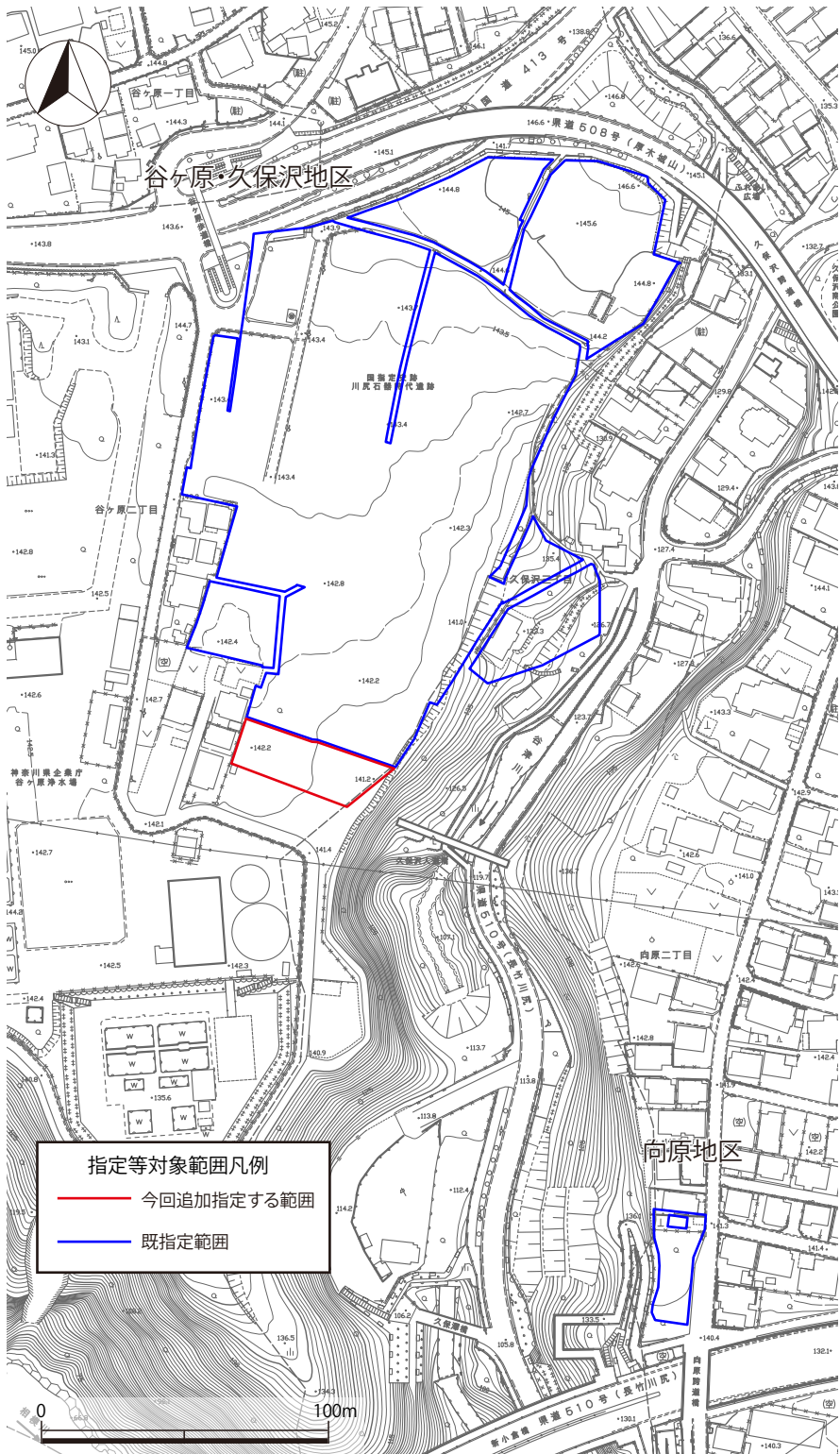


今回追加指定する範囲で発見された敷石建物



既指定地内の配石墓群

写真（デジタルデータ）の提供が可能です。問い合わせ先までご連絡ください。



指定等の対象地域の範囲を示す地形図